寺報

令和元年(2019)盂蘭盆会第133号(1)

発　行　福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺
ＴＥＬ　024(548)1240
ＦＡＸ　同　上
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.choshuin.jp/
e-mail　info@choshuin.jp/
編集責任　渡辺　祥文

盂蘭盆会

―暑中お見舞申し上げます―

お盆は正式には、盂蘭盆会といいます。略して「お盆」となりました。中国で作られたお経である「仏説・盂蘭盆経」が由来とされますが、中国の祖霊信仰に日本の農耕儀礼が交じり仏教に取り入れられ、中国と日本で広まりました。現在までに約千五百年の歴史を有すると言われています。

お盆には、亡き人々も、生きている人々もみな里帰りします。みなが集まる懐しく楽しい一時です。

お盆の大切な一時をみなで語り、先祖とわたしたち、そして生きているものの「絆」をかみしめて過ごしたいものです。

案内板

盆踊り大会

●長秀院（長秀院護持会主催）
八月十五日の夕べ

●仲興寺（清水町青年会主催）
八月十五日の夕べ

※例年どおりの開催です。雨天の場合は、当日に町内を中心に発表いたします。多くの皆様の参加をおまちしています。

仏教会主催とうろう流し

八月十七日の夕べ
県庁裏隈畔において例年通り開催されます。

令和元年　盂蘭盆会
山主拝

永平寺からの便り

伝法・嗣法の儀を了ず

弟子秀憲は、永平寺上山以来一年二ヶ月大本山において修行してまいりましたが、五月十九日より二十六日まで、師寮寺長秀院への他出帰山が認められ一旦戻ってまいりました。理由は伝法・嗣法の儀を修するためです。

伝法とは師匠が弟子に「法を伝える」こと、嗣法とは弟子が「法を嗣ぐ」ことであり、生涯に一度、一週間、師匠と弟子が一部屋にこもり、仏法の大事を伝え嗣ぐことです。内容は秘中の秘とされ他に公開致しません。勿論、やるべきことは決められているのですが、最も重要なこと故、「師資面授」、師匠と弟子が二人きりで伝えるものとなります。儀式儀礼は一週間全て決められており、弟子は特に師匠から弟子へ歴代伝えられた三物「嗣書」「血脈」「大事」を書写し、師匠の認印を受けなければなりません。一字一字を集中し間違いなく書きうつしていきますが、寝る時間を削って行うことになります。（見せるものではありませんが、

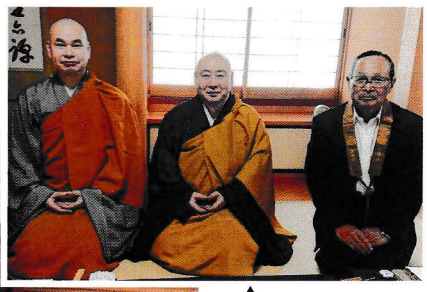
え、伝法・嗣法の儀を了じました。師資ともに感激の修行でした。ちなみに、松本清張著の『砂の器』には、曹洞宗の伝法・嗣法の様子が一つのエピソードとして出てきます。改めて松本清張という人の碩学ぶりが理解できるところです。

七月三日、侍真寮へ転役

七月三日、「侍真寮へ転役しました」と葉書が来ました。侍真寮とは、道元禅師様の廟所「真骨＝霊骨」をおまつりしているところで、禅師様方のお世話（毎食をおわすがごとくお供えする）をおつとめするところで法要三昧の寮舎です。二年目以上にならないと配置されないところであり、肉体的にも精神的にも厳しいところです。覚えることも多く一年目の初めに戻ったように思うところです。常に新しい経験と新しい課題を頂くところが尊いところです。道元禅師様はじめ歴代の住職がおまつりしているところで側仕えができる仏法の幸せを感じながら、毎日眠気と戦っていること思います。全く余裕がないと思います

長秀院特派布教会場
令和元年六月二十五日

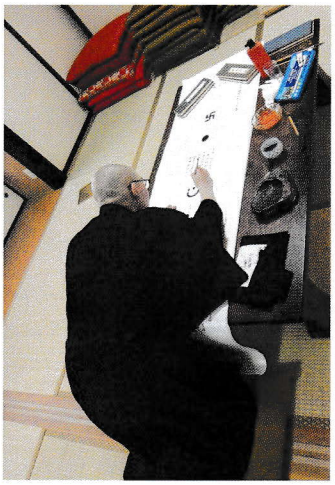
本年は二十四年ぶりに特派布教の会場となりました。特派布教師川上宗勇老師（東京）のご法話と教誨師としてのご講話をいただきました。市内四十一ヶ寺の代表の皆様に集合聴聞いただきました。

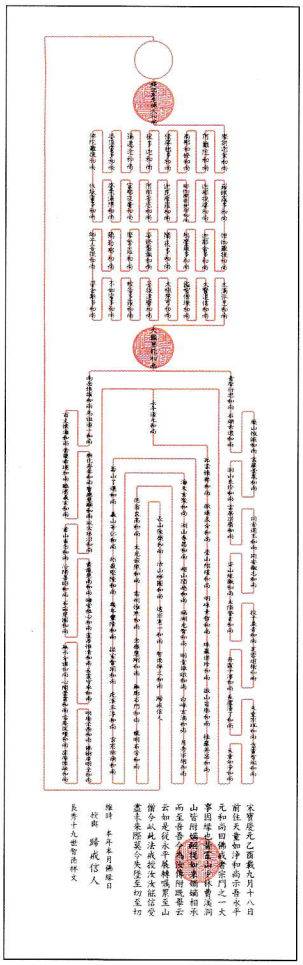


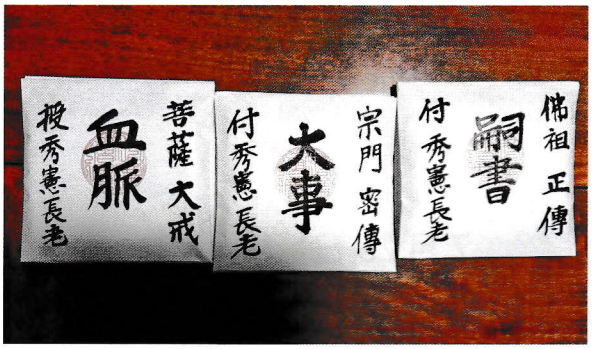
▲川上師と住職・総代長

◀特派布教の様子

理解を得るためここに掲載します）また僧
礼は、三時の勤行坐禅は勿論のこと、礼拝
をひたすらに行います。お釈迦様から、道
元禅師、瑩山禅師、そして師匠へと相承さ
れた教えを体得するためです。また、その
間、師匠は儀式儀礼の奥義とされることを
伝え、方法等についても授けていきます。
嗣法・伝法は二千五百年の仏法の歴史を
受け継ぐことであり、曹洞宗の僧侶にとっ
ては最も重要なこととなります。
私は、四十三年前の憲一方丈との嗣法を
思い出しながら、弟子秀憲に種々伝えるべ
きことを、教えるべきことを伝えました。
二十五日の夜中に最も重要な儀式を終







が頑張って欲しいと願っています。

（祥文 記）

謹啓　小満之候　檀信徒皆々様におかれましては
益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
私秀憲は、今大本山永平寺で修行
させて頂いており、上山一年三ヶ月目に入り
ました。この間、昨年十二月には「秀憲師を
励ます永平寺参拝」等頂き重ね重ね感
謝申し上げます。
さて、去る五月十九日から二十五日まで、
永平寺の許可を得てお寺に戻り「伝法

「嗣法」の儀を修行致しました。儀礼、法要の中、
師匠より儀法の大事なところを授けてもらいました。
お寺に籠っての修行の為ほとんどご挨拶できな
かったことをお詫び申し上げます。五月二十六日には
永平寺に帰山し修行を続けています。今後
共宜しくお願い致します。

令和元年六月吉祥日

祥徳秀憲　合掌

檀信徒皆々様

今年の夏の坐禅会

◆7月25日　松川レディース（松川学習センター）

◆7月29日　蓬莱学習センター　こども広場

八月十日(土)　午後四時
長秀院盂蘭盆供養会（総供養・新盆供養を行います）

八月十三日(火)　午後四時
仲興寺盂蘭盆供養会（総供養・新盆供養を行います）

八月十三日(火)～十六日(金)
盂蘭盆会・盆踊り大会（八月十五日のタベ）

八月十七日(土)
流灯会（福島市仏教会主催）

おねがい

お盆前後は行事も多く、住職が不在がちになります。種々の相談等でお急ぎの場合は電話またはＦＡＸにてご確認下さい。

電話　〇二四―五四八―一二四〇
ＦＡＸ　右同

盂蘭盆会総供養会

（お盆の総供養会）

長秀院・日時　令和元年八月十日（土）
午後四時より
・場所　長秀院慈雲閣において
仲興寺・日時　令和元年八月十三日（火）
午後四時より
・場所　仲興寺本堂において

お盆の総供養会をおつとめ致します。
供養参列の方は日時を確認の上ご来山下さい。また新盆供養もあわせておつとめ致します。
なお、流灯会の申込もその折にお願い致します。

令和元年八月一日

山主拝

檀信徒各位

ゴミ持ち帰り運動継続中

護美運動

長秀院墓地・仲興寺墓地

この十年間、総代世話人会等において、「ゴミの持ち帰り運動」が決定され展開しております。

墓地内のゴミ箱を全て撤去し、皆様にご協力頂きました。おかげさまで、きれいになりました。

福島市内寺院がこの方式にどんどん転換していますので、長衆院・仲興寺も「ゴミ持ち帰り運動」を継続展開してまいります。

特に熊や猪など野生動物のエサになることも問題なので、お供え後はその場で頂くかお下げ頂き持ち帰り頂くようお願いします。

何卒、みなさまのご協力を今後とも引き続きお願いいたします。

山主拝

長秀院開闢四百年報恩記念事業、無事円成の御報告

謹啓　皐月碧天の候　檀信徒並びに篤信者各家におかれましては愈々御清栄の段大慶に存じ上げます。

さて早速ながら、平成二十七年の標記実行委員会の組織結成以来各種事業、大法要、そして記録ＤＶＤ作製まで全ての事業を円成し平成三十一年三月二十八日護持会総会において決算報告を申し上げ御承認を賜りました。なお剰余金につきましては護持会の特別会計として管理いたします。ここに五年に渡る報恩事業を了じさせて頂きます。皆様の篤き御信心が形となり開闢四百周年を当山の歴史に刻むことができました。衷心より深く感謝申し上げます。なお寄進を賜りました皆様には記録ＤＶＤを配布申し上げますので何卒御照覧ください。

平成もいよいよ改元となり、令和の時代を迎えます。田澤山長秀院も仏教・禅・曹洞宗の教えを伝える道場として、皆様の先祖をお守りする霊廟として、そして地域活性化の重要な拠点として、それぞれの任を担えるよう内持外護ともにつとめてまいります。

ここに皆様の益々の秀縁長久と安穏安寧を念じ上げ、御報告といたします。

平成三十一年四月三十日

長秀院住職　渡辺　祥文
開闢四百年報恩記念事業実行委員会
実行委員長（総代長）　丹治　庄衛
同　実行委員一同

檀信徒並びに篤信者各位

第2回 長秀院親善パンダハウス チャリティゴルフ大会開催のご案内

田澤山　長秀院　大会実行委員長　渡邊　祥文
同　副委員長　丹治　庄衛

檀信徒親善交流のゴルフ大会を下記により開催しますので、多数のご参加をお待ちしております。

なお、チャリティコンペとなりますので皆様のご協賛を宜しくお願いします。

日　時　**令和元年８月30日（金）**午前８時30分スタート

会　場　福島ゴルフ倶楽部　民報コース

参加資格　長秀院檀信徒（家族等もOK）及び関係者

参加費　2,000円

プレー費　5,100円（食事代別途）

競技方法　18ホールズ　新々ペリア方式　ジェネラルエリア６インチプレース可

表　彰　民報コースクラブハウスで行います。

申込締切　令和元年８月20日（火）

申込方法　下記へ電話またはFAXにて直接申し込みください。

福島ゴルフ倶楽部民報コース
TEL　024-549-0244　FAX　024-549-1711

※照会先
実行副委員長　丹治庄衛　携帯　090-1032-3726